

保育目標 心身ともに健やかでいきいきと遊ぶ。

項目	重点項目	達成目標・具体的施策	年度末評価
学びの場である保育の充実	「愛情」を基盤とした 自尊感情の構築	・『あなたはかけがえのない人』という思いで接する。 ・週一回や月一回の読み取りや職員会議、保育の話し合いの中で職員間での情報共有や関わりの振り返りをする。	・年度の後半は行事が多く、読み取りの継続やそこから見えてきた子どもの姿の全体での共有が難しかった。しかし、同じクラスの担任同士では子どもの姿をこまめに伝え合い、多面的に見ることができた。 ・子どもへの関わり方や言葉がけなど難しいと感じていることだけではなく、子どもの育ちを他クラスの職員とも伝え合う機会をつくっていききたい。
	資質・能力を育む 保育の推進	・週一回、子どもの姿を振り返る時間を持ち、そこから今、子どもにとっての必要な環境を整える。	・幼児クラスは行事への取り組みや環境づくりのために週1回の読み取りの時間を確保することが難しかった。 ・環境をつくっていく中で子どもの姿を捉えながら構成することができた点はよかった。 ・計画性を持って、読み取りや環境構成するということを積み重ねていき、遊びの広がりへとつなげていききたい。
	ちがいを認め合える 仲間づくり	・子どもへの関わり方や言葉がけを振り返ったり、小グループで語り合う機会を月一回以上持つ。又、関わりや保育の中で疑問が生じた時には職員間で伝え合えるくらいまで人権意識を高めていけるようにする。 ・異年齢・同年齢などの様々な人との関わりの中でのそれぞれの思いや考えを必要に応じて記録に残したり、子どもにもわかりやすい形で写真や絵、簡単な文字を使って可視化していく。	・職員間で語り合う機会を持っていたが、振り返りから次はどのように関わっていくのかという深いところまでつなげることができていなかった。これからはその点を十分、意識していききたい。 ・ ・所内で『子どもの人権チェック表』を作成し、子どもへの関わり方や自分の保育を見直す機会を作った。
保育者の資質向上	職員研修・園内研修 の充実	・月一回、語り合いや報告会の機会を持つ。(色々な職員から問題提起してもらう) ・年間計画を立て、保育や人権に関する研修を充実させる。(実際の事例をあげたり、小グループで行うようにし、意見が活発に出るようにしたりする)それをもとに実践していく。	・職員会議の中での語り合いの時間は継続できた。語り合いたいテーマが多く、次に繋げるところまではいけなかった。年度のはじめにしっかりと計画を立てて取り組んでいきたい。 ・職員間で語る時間があることで様々な意見やアドバイスをもらうことができ、新たな関わりや保育へ返すことに繋がった。 ・語り合って保育実践した結果を具体的に・明確に出すようにしていきたい。
	チーム保育の推進	・朝夕会計年度職員との子どもへの対応や関わり方を丁寧に伝え合ったり、乳児と幼児の保育の情報共有のための連携を強化するために語り合いや園内研修で学び合う機会を持ったりする。(年一回以上) ・週一回、乳児・幼児会議を持ち、情報共有や保育、環境について語り合う。また、会議の内容はお互いに必ず伝達し合い、全職員が把握できるようにする。	・それぞれが抱えている仕事やクラス運営で周りが見えていないことがあった。常に『チームのために○○しよう』『自分には何ができるのか』ということを意識して行動していきたい。 ・やってみたいことや自分の意見を提案しやすい雰囲気づくりをこれからも心がけていく。 ・クラスの情報を共有できるよう、こまめな話し合いや伝達ノート・事務所のボードを活用していく。

	小学校教育との接続	・職員研修の機会を持ち、幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿について職員間で共通理解する。 ・生活習慣の見直しをする。 ・集団生活の中のルールや約束が身につくようにする。 ・行事を通して、小学生や地域の人たちとの交流を持ち、色々な人たちとの関わりを広げる。 ・5領域や10の姿の視点からの読み取りを継続して行う。	・各年齢のねらいや姿を全体で話し合う機会が少なかった。年齢ごとに大事にしたいことは年度当初におさえ、全職員で共通理解する。 ・以前よりも、子どもの姿や成長をクラスだより・ドキュメンテーション・週案・環境マップなどの作成時に『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』につなげて考えることが増えた。小学校への引き継ぎの際にもこのことが活かせるよう、検討していきたい。
--	-----------	--	--